



## 血液内科のご紹介



みなと血液内科HP



### 血液内科の特徴

血液内科は、白血病、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫、骨髄増殖性腫瘍などの造血器腫瘍、再生不良性貧血、血小板減少性紫斑病などを中心に、血液の病気全般にわたって診療しています。造血器腫瘍は、治癒をめざせるのが大きな特徴です。分子標的療法、モノクローナル抗体、プロテアソーム阻害薬、免疫調節薬、CAR-T 療法、幹細胞移植などにより、難治と考えられていた患者さんも、治癒可能になりつつあります。

当科の特徴は次の通りです。

- ・白血球数、ヘモグロビン、血小板数の基準値の上限値と下限値の 2 倍や 1/2 はすぐにご紹介、3 倍や 1/3 は即日ご連絡下さい。血液専門医 4 名を含む 6 名の医師で対応します。
- ・当院は診療科ごとの入院ベッド定数は無いため、必要に応じて**迅速に入院できます**。
- ・PET/CT を備えており、悪性リンパ腫、骨髄腫の厳密な評価ができます。
- ・個室の無菌室 8 床、幹細胞分離装置を備えており、**末梢血幹細胞移植**を行っています。
- ・24 床の**外来化学療法センター**では、快適に外来治療が受けられます。
- ・日本成人白血病治療共同研究グループ(JALSG)に参加しており、最先端の治療を行います。
- ・化学療法センター、がん化学療法看護認定看護師、がん薬物療法認定薬剤師、緩和ケアチーム、歯科口腔外科、がんリハビリ、在宅往診医などとの**多職種チーム医療**を行います。
- ・体調が回復次第、自宅での生活をめざすので、**平均在院日数は 19 日間**と他施設よりも短い  
です。
- ・**緩和ケア病棟**があり、QOL を重視した医療を行います。
- ・カンファレンスを看護師、薬剤師、**緩和ケアチーム**と毎週行い、化学療法と移植だけではなく、患者さんのライフスタイルに合わせて、**在宅医療、緩和ケア**も含めた医療を行います。



### 受診について

受診の場合、地域医療連携課にご連絡いただくと、初診の患者さんでも事前に予約枠が取れ、待ち時間が少なくなります。診療情報提供書をいただくと大変役立ちます。

予約の受付窓口：地域医療連携課

受付時間：月～金 8:30～17:00

予約専用ダイヤル：045-628-6365

FAX：045-628-6367

緊急の場合は、直接代表番号にご連絡ください。夜間休日は救急外来で対応します。



## スタッフと外来体制

スタッフと外来体制は、次の通りです。

山本 晃(こう):1986年卒、副院長、血液内科部長、化学療法センター長、東京医科歯科大学臨床教授、日本内科学会認定内科医・総合内科専門医、日本血液学会認定血液専門医・指導医・代議員、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、日本医師会認定産業医、医学博士

齊藤 達也:2011年卒、副部長、日本内科学会認定内科医・総合内科専門医、日本血液学会認定血液専門医・指導医、日本医師会認定産業医、日本がん治療認定医機構がん治療認定医、医学博士

坂下 千瑞子:1992年卒、輸血部部長、日本内科学会認定内科医、日本血液学会認定血液専門医・指導医、日本医師会認定産業医、医学博士

副島 麻衣:2016年卒、日本内科学会認定内科専門医、日本血液学会認定血液専門医

八木 真梨絵:2020年卒

大島 健輔:2021年卒

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前新患(交代制)	10:00~	11:00~	10:00~	10:00~	10:00~
午前再診		山本	八木	齊藤	大島
午後再診	坂下	齊藤	山本	八木	山本



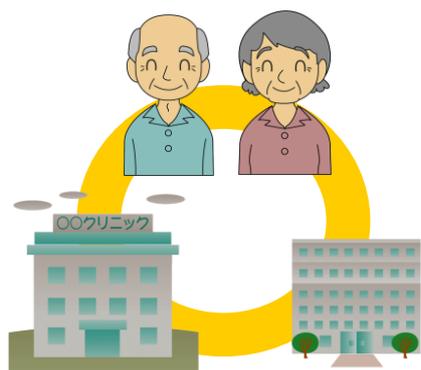
## 治療方針と実績について

各血液疾患に対して、エビデンスに基づいた最善の治療を行います。さらに悪性リンパ腫や多発性骨髄腫に対しては、自己末梢血幹細胞移植を取り入れた大量化学療法を行っています。JALSG等に積極的に参加し、最先端の治療を行います。

治療の基本姿勢として、十分な説明をした上で、患者さんのライフスタイルに合った治療法を相談します。また体調が良いときはできるだけ自宅での生活をめざし、在院日数は他施設よりも短くなっています。見晴らしの良い外来化学療法センターでは、安全で快適な外来治療を行います。緩和ケアチームも含めたカンファレンスを毎週行い、単なる化学療法、移植施設としてではなく、緩和ケアなども含めた全人的で Quality of life を重視した医療を行います。

主な血液疾患の延べ入院患者数は表の通りです。

	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
白血病	88	64	76	57	98
悪性リンパ腫	278	233	268	226	152
多発性骨髄腫	37	48	43	30	38
骨髄異形成症候群	69	22	10	13	35
骨髄増殖性疾患	13	9	6	12	3
再生不良性貧血	18	28	34	12	10



### 地域医療連携について

患者さんにとって最善の医療を行うためには、地域医療機関の先生方と良好な関係を築き、それぞれの力をあわせていくことが重要と考えております。

血液疾患は採血の異常やリンパ節腫大で見つかることがほとんどです。血算については、**基準値の上限値と下限値の2倍(1/2)はヤバイ、3倍(1/3)は即送る**、とお考え下さい。つまり、白血球 1000/ $\mu$ l以下や3万以上、血小板 3万/ $\mu$ l以下、ヘモグロビン 5mg/dl以下は、即日ご連絡ください。迅速に対応し、地域の医療機関の先生方のお役に立ちたいと考えております。

ご紹介いただきました患者さんについて、血液内科でなければできない検査や治療を速やかに進めて方針を決定します。落ち着いた患者さんについては、方針(例えば、採血での経過観察が良い、鉄剤内服やビタミンの筋注、寛解後の処方のみ)をお示して、ご紹介いただいたかかりつけの先生の所で診療を継続していただくことがこれからの医療のあるべき姿だと思います。ご心配な場合は、1年先でも予約枠が取れますので、血液外来でのフォローをすることも可能です。地域の先生方との連携をいっそう深めることが、地域の皆様にほんとうにお役に立つ病院になることであると考えております。

患者さん向けに使っている検査の略語と説明の資料をご利用下さい。



私は、生まれも育ちも磯子区で、旧横浜赤十字病院で内科研修を行いました。横浜は愛着のある地元ですので、今後ともご指導よろしくお願い致します。(山本 晃)